

音楽フェスのワクワク感とランニングの魅力が融合した新しい形のランニングイベント
『TOKYO ROKUTAI FES 2025』 エントリー開始！

一般財団法人東京マラソン財団は、2025年10月4日（土）、5日（日）に味の素スタジアムにて、「TOKYO ROKUTAI FES 2025（トウキョウロクタイフェス 2025）」を開催します。本イベントは、6時間耐久リレーマラソン（TOKYO ROKUTAI RELAY）をはじめ、多彩なランニングプログラムを楽しめる新感覚のランニングフェスです。既存のランナーはもちろん、これからランニングやスポーツを始めたい方、近隣地域にお住まいの方、学生の皆さんまで、誰でも気軽に参加できる場を提供します。

2日間にわたる本大会では、メインとなる「6時間耐久リレーマラソン（TOKYO ROKUTAI RELAY）」に加え、女性限定プログラム（5km レース）、10km レース、海外で人気のマイルレース（約1.6km）など、さまざまな種目をご用意。また、今回新設する「TOKYO RELAY HALF MARATHON（ハーフマラソンの距離をチームでつなぐリレー）」を2日間とも開催することにより、さらに多くの方にご参加いただきやすい大会となっています。

本日〔3月14日（金）〕より、各種イベントのエントリーを開始しました。多くの皆さまのご参加をお待ちしております。詳細・エントリー方法については、「TOKYO ROKUTAI FES 2025」[公式ウェブサイト](#)をご確認ください。

■大会コンセプト

音楽フェスなどで親しまれている「フェス」と、東京マラソン財団がこれまで培ってきた「ランニング」の本質を融合させた【最もフェス感のあるランニングイベント】が「TOKYO ROKUTAI FES」です。ランニングと多様なカルチャーの融合を目指し、様々なランニングコンテンツを展開、「ランニングの楽しさ」や「仲間や家族とともにスポーツに親しむ場」を提供します。



■ TOKYO ROKUTAI FES2025 開催概要

開催日時：2025年10月4日（土）、5日（日）

開催場所：味の素スタジアム

エントリー期間：2025年3月14日（金）～9月7日（日）

種目：<DAY1>10月4日（土）

・ TOKYO WOMEN'S RUN 5K

【一般の部】定員 500 名、参加費 3,850 円/名

・ TOKYO 10K

【一般の部】定員 500 名、参加費 3,850 円/名

・ TOKYO RELAY HALF MARATHON (DAY1) ※21.0975km

【男子の部・女子の部・男女混成の部】定員 300 チーム、参加費 4,620 円/名

・ TOKYO RELAY MARATHON ※42.195km

【男子の部・女子の部・男女混成の部】定員 300 チーム、参加費 4,620 円/名

<DAY2>10月5日（日）

・ TOKYO 1MILE

【ファミリーの部】定員 250 組、参加費 2,750 円/組

【小中学生の部】定員 500 名、参加費 2,750 円/名

【一般の部】定員 500 名、参加費 3,300 円/名

【公認の部（男子）】定員 200 名、参加費 3,300 円/名

【公認の部（女子）】定員 200 名、参加費 3,300 円/名

・ TOKYO RELAY HALF MARATHON (DAY2) ※21.0975km

【男子の部・女子の部・男女混成の部】定員 300 チーム、参加費 4,620 円/名

・ TOKYO ROKUTAI RELAY ※6 時間耐久

【男子の部・女子の部・男女混成の部】定員 300 チーム、参加費 4,620 円/名

※詳細・エントリー方法については、[公式ウェブサイト](#)をご確認ください。

■大会アンバサダー



瀬古利彦さん

1956年、三重県生まれ。

高校時代から本格的に陸上を始め、インターハイでは800m・1500mで二年連続二冠を達成。早稲田大学へ進み、故中村清監督の元、ランナーとしての才能を開花。箱根駅伝では4年連続で「花の2区」を走り、3、4年次では区間新（当時）を獲得するなど、スーパーエースとして活躍した。トラック・駅伝のみならず大学時代からマラソンで活躍し、国内外のマラソンで戦績15戦10勝。圧倒的な強さを誇る。現役引退後は指導者の道に進み、オリンピック選手を3名輩出するなど後進の育成に注力。2016年より日本陸連マラソンリーダーとしてマラソングランドチャンピオンシップ（MGC～五輪日本代表選考会）設立に奔走。2019年、2023年のMGCを成功に導いた。現在、DeNAアスレティクスエリートアドバイザーとして活躍中。全国のランニングイベントでのゲストとしてマラソンの普及に努めている。

■ TOKYO 1MILE レースディレクター



横田真人さん

男子 800m 元日本記録保持者であり、2012 年ロンドン五輪出場。日本選手権では 6 回の優勝経験を持つ。現役引退後 TWOLAPS を立ち上げアスリートのコーチングをスタートさせる。2020 年より性別、国籍、所属の垣根を超えたチーム TWOLAPS TC を立ち上げ、新谷仁美、卜部蘭らを指導。2021 年からは中距離に特化した大会 MIDDLE DISTANCE CIRCUIT を開催。エンターテインメント性を高めた陸上大会で陸上競技の大会の観戦体験、参加体験の向上を目指し、コーチングと大会作りで陸上界に新しい風を吹かせている。

■ DAY2 ゲスト



田中希実選手

1999 年 9 月 4 日生まれ。兵庫県出身。
2020 年日本選手権 5000m 優勝、2021 年日本選手権 1500m 優勝。東京 2020 オリンピック女子 1500m に出場し、日本人初決勝進出し 8 位入賞。
2022 年世界陸上では 800m、1500m、5000m の 3 種目に出場。同年 9 月にニューヨークで開催されたマイルロードレース 5th アベニューマイルに初出場し、女性の部 5 位。
2023 年、ブタペストで行われた世界陸上では 5000m 予選にて日本新記録を樹立。そして日本代表 26 年ぶりとなる 8 位入賞を果たす。

9 月ダイヤモンドリーグ-ブリュッセルにて 14 分 29 秒 18 というタイムで 5000m の日本記録をさらに更新。2024 年 6 月の日本選手権では 800m、1500m、5000m の 3 種目に出場し、5000m では 3 連覇を果たし 1500m、5000m 2 種目でパリオリンピック出場権利を獲得。パリオリンピックでは 5000m 出場、1500m 準決勝進出。オリンピック後も休む事なく世界最高峰レース Diamond League の対象レースを連戦し、見事 2 年連続で Final レース出場権利を獲得。ベルギーブリュッセルで開催された Final レースでは、5000m 今季自己最高の 14 分 31 秒 88 の好記録でみごと世界 6 位となる。2025 年 2 月、ニューヨークで開催された「117th Millrose Games」で 8 分 33 秒 52 というタイムで 3000m の日本記録を更新。日本陸上界を代表する存在のひとりとして、世界へチャレンジを続ける。

■ DAY1 & DAY2 ゲスト



M 高史さん

中学・高校時代は陸上部（長距離）。駒澤大学陸上競技部ではマネージャーに転向、主務を務める。卒業後は知的障がい者施設の生活支援員として約 5 年勤務。2011 年 12 月より「ものまねアスリート芸人」に転身。マラソンランナー川内優輝選手のモノマネなどで注目を集める。マラソン大会のゲストランナーや MC の他、保育園、学校、障がい者施設、高齢者施設への訪問、講演、執筆、ラジオ配信、大会ライブ配信実況など活動は多岐にわたる。「M 高史の部活訪問」で全国各地の中学、高校、大学へ伺い、陸上競技への恩返し活動を続けている。